



活力ある秋田 Vol. 57

故郷秋田の良さを 広めたい

【秋田市観光クチコミ大使】フリーアナウンサー 今野節子氏

抜けるような冬晴れの空を眺めながら、一面雪に覆われた故郷秋田に想いを馳せる時。遠く離れた土地に住んでいるのだと実感します。

結婚をするまでの三十数年間、ずっと生まれ育った秋田で生活してきました。

冬の厳しい寒さに耐え、各地で小正月行事が行われ、やがて山々は芽ぶきの萌黄色の季節を迎えます。雪に閉ざされた長い冬の分、春の訪れの喜びはひとしおです。夏の秋田の夜を彩る竿燈。赤や黄色の色鮮やかな紅葉。そして、また迎える白銀の雪景色の季節。

秋田で生まれ育った私にとって当たり前だった日常の景色は秋田を離れ13年経った今、ひときわ鮮やかに胸の中によみがえります。

そうはいうものの実際に生活をしている頃は、秋田の不便さや冬の大変さなどマイナス部分を感じる事が多かった気がします。

それが秋田を離れた途端に恋しく懐かしくなるのですから人間は勝手なものです。店頭で秋田産の文字を見つければ迷わず手に取り、テレビや新聞で秋田の話題が載っていれば真っ先に目を通すようになりました。

昨年は特に秋田デスティネーションキャンペーンや秋田新幹線スーパーこまちのデビューにより駅やCMで秋田を目にする機会が多く、その度にうれしく感じていました。

平成9年3月の秋田新幹線開業当時は秋田でアナウンサーとして仕事をしていましたので、試験走行等の準備段階から当日の生中継までを担当しました。

また秋田県の広報番組を担当していたことから秋田ふるさと村の開業、大館能代空港の開業などに立ち会う機会にも恵まれました。

秋田での15年間の間に秋田県内旧69市町村全てを訪れる機会を得たことは得難い宝物となりました。

そんな私が今、できることは秋田の良さを一人でも多くの人に知ってもらうことです。

まずは身近なところから。今の季節、来客があれば必ずきりたんぼやだまこ鍋でおもてなしが我が家の定番。ツイッターやフェイスブックにも記事を紹介していることから近頃では他県出身の友人や事務所の後輩にもきりたんぼ熱が伝染中です。

離れて改めて感じている秋田の「良さ」。

「人が良い」ことでなかなか一歩が踏み出せずちよっぴり損をしている部分もあるけれど、人と自然に恵まれた秋田って素敵です。

「控えめ」といわれがちな秋田人ですが、実はとても粘り強く打たれ強い。

なかなか最初の一步を踏み出せない反面、いざ前進を始めるとどんな困難にも挫けない強さを持っています。

控えめな部分を払拭し、地元の人が当たり前にとらえがちな秋田の良さをいかにPRしていくかが今後の課題でしょう。

首都圏には多方面で活躍している秋田出身の方が大勢おられます。その方々にお会いする度、私自身もがんばろうと思えます。そして、いつでも暖かく迎えてくれる秋田という故郷の溢れる魅力を少しでも県外の方に伝えることができるようこれからもお手伝いさせていただきます。

■略歴

昭和41年 秋田市生まれ

秋田放送、エフエム秋田アナウンサーを経て、2001年より東京にてテレビ、ラジオ、CM、司会などを中心に活動。

主な出演番組：ABSホットスタジオ、テレビ県民室（秋田放送）、foreverヤング（エフエム秋田）、ショップチャンネル、ジャパネットタカララジオショッピング（中部日本放送）等。

秋田県総合開発審議会専門委員、秋田県図書館協議会委員、秋田市日独協会会員等を務める。

現在、タレントオフィス「ともだち」東京所属。